

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	2-1 新しい時代に対応した力強い産業を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	産業労働部 新産業創造課	伊東 啓行
施策名	2 スタートアップの創出	事業群関係課(室)		
事業群名	① スタートアップによる新サービスの創出	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	72,898

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)							
スタートアップの集積には、県内外の大学、金融機関、創業意欲のある学生や様々な分野の社会人などが交流する必要があります。そのため、都市部企業等との新たなビジネスモデルを生み出す取組やセミナーなどで機運を高めるほか、異業種の交流を進めることで新サービスの創出に繋げていきます。		i) 県内におけるスタートアップ創出の支援 ii) 県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	【進捗状況の分析】 スタートアップの集積を図るため、交流拠点CO-DEJIMAを中心に、スタートアップの創出や本県への誘致等に取り組んでいる。 CO-DEJIMAにおいては、創業相談や各種イベントの開催、県内コミュニティ間の交流促進による新たなビジネス創出等の支援を実施した。 令和4年度からは新たに、スタートアップの成長促進や起業の機運醸成を目的としてスタートアップと投資家とのマッチングイベントを開催し資金調達を支援した結果、令和4年度のスタートアップの創出・誘致は目標値を大きく上回る8件であった。 また、令和4年度に本県出身のスタートアップが首都圏から県内に拠点を移したほか、新規ビジネス創出を検討する経営者のコミュニティによる定期的な勉強会の開催、学生が起業を目指すなど、県内でスタートアップの創出に関する様々な動きが起きている。 ※スタートアップ:新たなビジネスモデルにより、成長を目指す企業
	スタートアップの創出・誘致件数(累計)	目標値①	3件	6件	9件	12件	15件	15件(R7)	
	実績値②	—	5件	13件				進捗状況	
	達成率②/①		166%	216%				順調	

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等	
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		R3目標	R3実績	達成率		
取組項目 ii	○	1	長崎県スタートアップ強化支援事業	64,951	32,775	7,790	令和4年度事業の実施状況(令和5年度新規・補正事業は事業内容) 事業対象 スタートアップ交流拠点CO-DEJIMAにおいて、コミュニティ醸成や交流拠点運営に実績のある民間の専門事業者による運営に変更し、創業相談やイベントなど各種支援の充実を図るとともに、県内コミュニティ間の交流促進による新たなビジネス創出を支援したほか、県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致にも取り組んだ。 新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業	【活動指標】	10,000		3,976	39%
				43,943	22,704	7,653		出島スタートアップ拠点の利用者数(人)	11,500	4,206	36%	
				38,336	19,729	7,716		【成果指標】	3	5	166%	
			R2-	—	—	出島交流会館に集積したスタートアップ企業(社)		3	8	266%		
			新産業創造課	—	—	—		3				

取組項目 ii	○	2	ミライ企業Nagasaki推進事業	11,464	5,732	3,061	スタートアップ等の資金調達支援及び県内における起業の機運醸成のため、マッチングイベント「ミライ企業Nagasaki2022」を開催し、チャレンジ部門参加者に対して、「ミライ企業Nagasaki成長促進補助金」により、法人化費用や実証に係る経費等、アイデアのブラッシュアップや事業化を支援した。	【活動指標】	10	11	110%	●事業の成果 ・投資家と県内スタートアップのマッチングの機会を提供するイベントにより、県内スタートアップが資金調達に成功した。また、補助金活用により個人が株式会社を設立するなど、起業にもつながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・マッチングイベントの開催やイベント参加企業等に対するブラッシュアップ等の支援により、スタートアップの創出に繋がった。		
				11,100	5,550	3,086		【成果指標】	10					
			R4-6	—					スタートアップの創出・誘致件数(件)	3	8		266%	
			新産業創造課	—				新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業		3				
	○	3		スタートアップ・クロステック推進事業	28,100	14,580	3,086	交流イベント等を通して、本県にゆかりのある起業家や都市部スタートアップ等を県内に呼び込むとともに、交流拠点「CO-DEJIMA」等と県外コミュニティとの連携強化に取り組むことで、新たなイノベーションを生み出す土壌を創出する。	【活動指標】				—	
									県外コミュニティ等の訪問件数(件)(累計)	13				
									【活動指標】					
									県外スタートアップ等との交流イベントの実施件数(件)	3				
				(R5新規)R5-7	—			【成果指標】						
				新産業創造課	—			新たなビジネスモデルにより成長を目指すスタートアップ企業	【成果指標】					
								県内・県外コミュニティ等のマッチング件数(件)(累計)	7					
								【成果指標】						
							県外スタートアップ等の県内活動件数(件)(累計)	5						
○	4		大学連携新産業創造拠点整備事業	18,185	9,859	3,116	大学連携型起業家育成施設に常駐する支援人材の配置や入居企業等に対する賃料補助を行った。	【活動指標】	40	46	115%	●事業の成果 ・取引先の紹介や人材確保支援、展示会への出展アドバイスなど、入居企業へのきめ細かな支援を行った結果、目標を達成した。		
				17,491	9,166	3,061		入居企業のヒアリング実施件数(件)	40	43	107%			
				22,708	13,392	3,086		【成果指標】	20	20	100%			
				—										
				—										
				H19-R5	—									
			新産業創造課	—			大学等との連携により、新事業の創出や新商品の開発・新分野進出を目指す起業家や企業	【成果指標】	20	22	110%			
							大学連携型起業家育成施設に入居し新たな事業活動を展開する企業等数(者)	20						

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	県内におけるスタートアップ創出の支援
●実績の検証及び解決すべき課題	●課題解決に向けた方向性
スタートアップ集積には、技術やアイデアを高め合うコミュニティの役割が重要であるため、交流拠点CO-DEJIMAに配置したコミュニティコーディネーターによる県内コミュニティ間の交流促進、オープンイノベーション型新規ビジネス創出プロジェクトの推進、及び資金調達や起業の機運醸成のためのマッチングイベント開催などに取り組んできた。その結果、県内で活動するスタートアップは増えつつあるが、スタートアップの集積には一定期間を要するため、これらの交流事業を継続する必要がある。	県内における各種交流事業について継続するとともに、県外コミュニティとの連携強化による、新たなビジネス創出を支援するほか、スタートアップと投資家とのマッチングイベントを、県内の類似イベントとも連携のうえ開催するなど、長崎でチャレンジできる環境づくりに取り組む。
ii	県外産業交流拠点と連携した県外スタートアップの誘致
●実績の検証及び解決すべき課題	●課題解決に向けた方向性
県外産業交流拠点との交流を通して県外スタートアップの誘致につながった事例や、本県出身の起業家が都市部での活動を経て本県に拠点を移した事例もあるため、本県での更なるスタートアップの集積には県外との連携を積極的に進める必要がある。	県外産業交流拠点と連携したイベントの開催等により、本県にゆかりのある起業家や県外スタートアップを呼び込むとともに、実証事業や県内企業との共創等、県内における新たなビジネス創出に向けた取組みや活動を支援し、定着を図る。

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和5年度の新たな取組は「R5新規」と、見直しが無い場合は「—」と記載	令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i ii	○	1	長崎県スタートアップ強化支援事業	都市部からスタートアップ等呼び込み、県内コミュニティとの交流や共創の促進による県内定着を図るため、県内における実証事業等への支援対象を拡充した。	⑥	今年度の実施結果や参加者へのヒアリング等を踏まえ改善を検討していくとともに、スタートアップの創出及び成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成の取組を推進する。	改善
			R2-				
			新産業創造課				
	○	2	ミライ企業Nagasaki推進事業	資金調達の場合として、都市部のスタートアップを県内に呼び込めるよう、要件に見直すとともに、市町等が開催するビジネスプランコンテストの優先枠を設けるなど、県内の類似イベントと連携した内容に見直した。	⑥	今年度の実施結果や参加者へのヒアリング等を踏まえ改善を検討していくとともに、スタートアップの創出及び成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成の取組を推進する。	改善
			R4-6				
			新産業創造課				
	○	3	スタートアップ・クロステック推進事業	R5新規	⑥	今年度の実施結果や関係者へのヒアリング等を踏まえ改善を検討していくとともに、スタートアップの創出及び成長を支援するために必要な環境づくりや機運醸成の取組を推進する。	改善
			(R5新規)R5-7				
			新産業創造課				
		4	大学連携新産業創造拠点整備事業	—	⑧	施設の供用から15年が経過し、今後の取り扱いや役割、運営主体のあり方について、施設を運営している中小企業基盤整備機構、県及び長崎市の3者において協議を行う。	改善
			H19-R5				
			新産業創造課				

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点